



発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
FAX: 824-7760
No.3504

寝屋川市会議員

中林かずえ

宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市会議員

松尾信次

下木田町 12-6
090-3056-9924
寝屋川市会議員

西田まさみ

石津中町 30-3
090-9713-3588
前寝屋川市会議員

太田とおる

高柳 2-49-2
080-3818-9722

親亡き後の重度障がい者の居場所 入所施設・グループホームの新設を



大阪府は入所施設新設ふれず

松尾議員 毎議会で新設もとめる

松尾議員は昨年9月議会から毎議会で、重度障がい者の入所施設・グループホームの新設をもとめています。

7月、障がい者の入所施設やグループホームの待機者などの実態について、厚生労働省は実態調査をおこなう意向をはじめて表明しました。

大阪府は昨年8月に実施した「施設入所の待機者に関する実態調査について」の結果をホームページで公表するとともに、第5次大阪府障がい者計画の改定のなかで、「施策の方向性」として、施設からの退所促進、地域の受け皿整備の促進、高齢化・重度化に対応したグループホームの整備促進を明記。

大阪府の計画では、グループホームの整備は言うが、入所施設の新設はまったくふれていません。施設入所者の削減をすすめる方針は変えておらず。2026年度で、2020年度比1・7%の入所者削減の方針を示しています。

政府が実態調査を実施する方向であることなど、新しい動きですが、実際の対応は重度

の知的障がい者と家族の実態からみて、大きな問題があります。在宅での生活が困難な重度障がい者の生活の場として、入所施設は必要です。

グループホーム重度障がい者の入所の保障がない現実がある中で、どのように問題を解決していくのか、具体的に示されていません。

松尾議員は、寝屋川市として重度障がい者の

コメ不足と価格高騰

政府に対策もとめよ

の生活の場を確保するため、ひきつづき入所施設の新設、重度障がい者が入所できるグループホームの新設へ、国と大阪府のとりくみを強く求めること。市としての独自の努力を強くもとめました。

市は「入所施設の新設は広域的調整されるものであり、大阪府市長会を通じ、国・府に要望している」グループホーム新設の申請が

政府が米の需給と価格安定に責任を持つ▽多少の不作や需要増でも不足しないよう、ゆとりをもって生産量や備蓄を確保する▽豊作などで供給が上まわった場合には国が買い上げ、備蓄に回すことなどが重要です。そして、価格保障や所得補償などで農家が安心して米

作りに励める条件を国の責任で整えることが不可欠です。

松尾議員は寝屋川市として、政府に対して緊急対策と抜本的な対策を強く要請することをもとめました



法律相談

時:10月17日(木)
午後6時半~

場所:日本共産党
寝屋川市委員会
(八坂町15-35)

※予約が必要です。
市議会議員に電話で
予約してください



萱島駅周辺のまちづくり 若い世代も 今住んでいる住民も継続して住める街に

商店街活性化・家賃の安い住宅などが必要

9月議会 松尾議員がもとめる

市の「萱島駅周辺エリアまちづくりの将来ビジョン(素案)」についての寝屋川市の説明会が8月初めに3回行われ、のべ93人の住民が参加しました。

かつて、萱島駅周辺地域は田んぼが住宅地に代わり、新しい文化住宅などが急激に増え人口が急増。建設労働者や新婚世帯などが増加し、飲食店や洋品店などに、「住民の行列

ができる商店街」の時代がありました。人口がふえた1970年とくらべ現在の人口は実に47%に半減。行列ができた商店街は寝屋川市4駅の中で、際立って空き店舗が多い商店街に変わっています。

例えば萱島東2丁目では、世帯の8軒に1軒がひとり暮らしの高齢者です。この間、建て替えを促進する市の事業がすすむ中で、新しい住宅への建て替えがすすみ文化住宅が大幅に減少し、持ち家やマンションが増えるなどで、街の外観も変わってきました。同時に建て替えて住民が入れ替わり、住民同士のつながりが

住民とともに考え ともにすすめるまちづくりを

松尾議員は住民が継続して住める街への条件整備を以下のようにもとめました。

こまめに整備すること。・商店街については、現在の商店街の活性化をはかること。新しい道路整備の中での活性化。この2つの課題にとりくむこと、などを

・安い費用の住宅の確保、中小零細企業や商店街の活性化、医療機関、福祉施設の設置などで、可能な限り、住民に地元で仕事をしてもらい、地元に住みつけてもらうこと。

・身近に買い物できる場所、交流できる場所、公園など地域に、

幅員18mの萱島讀良線・新しい道路整備については、住民へのていねいな説明とていねいな対応をおこない、住民の不利益にならないよう、対応すること。商店街の活性化、住宅の確保をはじめ、新たなまちの活性化には、

行政としての特別な施策や財源保障をもとめました。

新しい道路の築造と街の活性化施策を

議員 松尾 信次



松尾 信次

臨時国会は9日間で終わり、10月15日公示、同27日投票で衆議院選挙です。

裏金問題を隠し、逃げ切りをねらうなど許されません。

新首相の石破氏は自民党総裁選で「国民が判断できる材料を提供することは政府の責任であり、新総理の責任だ」「本当のやりとりは予算委員会だと思っ

昨年5月から、私はさまざまな市民要求実現を、市議会できちんとあげてきましたが、「国政の壁」を強く感じしてきました。

「慎重な姿勢を示しています」と、早期解散が終わると、首相に指名される前に、いきなり解散表明。

軍事費の削減、大企業優遇をやめ、国民のくらしを守る国政に転換することが、寝屋川市民の要求実現の近道です。

国会でまともな審議もせず、総裁選の公約をすぐにくつがえす首相が、今後何を言っても信用できません。党利党略の早期解散で、

日本共産党の躍進で、労働時間短縮、賃金の引き上げ、非正規労働者の待遇改善、介護・医療・福祉・子育て・教育の充実などの実現へ、私も力をつくします。

